

ステラスコープ つつがた せいざ はやみばん -筒型の星座早見盤を作ろう！-

<用意するもの>

プラスチック製の調味料ポット 1本（底の直径5~6cm×高さ20cm程度、上の方が細くなっていくタイプがオススメ）、虫メガネ（レンズ口径5cm程度）、ビニールテープ、厚紙（5×5cm程度）、星図の下絵など素材（別紙）、黒油性ペン、ハサミまたはカッター

<作り方>

1. 虫眼鏡の枠からレンズを取りはずしておく（今回は枠は使いません）。
2. 調味料ポットの本体部分、下から約10cmのところにて切れ込みを入れて、ふたつに分ける。フタの方をA、底の方をBとする（図1）。
3. Aにレンズをはめ込み、細い方の口に黒く塗った三日月型の厚紙をはりつけ、まわりをビニールテープで覆う（図2、4）。



図1 調味料ポット本体。左がA、右がB。



図2 Aにレンズと型紙をはめこんだ様子。



図3 Bの底に星図をはりつけた様子。

4. Bの底に星図をはりつけ、底から2cmほどのところまでビニールテープで覆う（図3）。
5. AとBにメモリをはりつけて完成！（図4、5）

<メモリのつけ方>

- ① Bには、1~12月まで書かれたメモリを貼り付ける。Bの切り口近く（底がない方）へ、文字が逆さになるように貼り付ける。このとき星図を四等分している十字線の先にある12の文字が、秋分の日（9/23ごろ）あたりに来るようにする。
- ② Aには、時間のメモリを貼り付ける。Aを覗いたときに、すきまの一番山の部分が0時になるように貼り付ける。

★ ミニ電球をつけると暗いところでも使えるよ！ <所要時間：約1時間>



図4 A（左）、B（右）メモリを貼った様子。



図6 見たい日付けと時間が同じ位置にくるように組み合わせて、覗いてみよう！



図5 BにAを重ねて、完成！

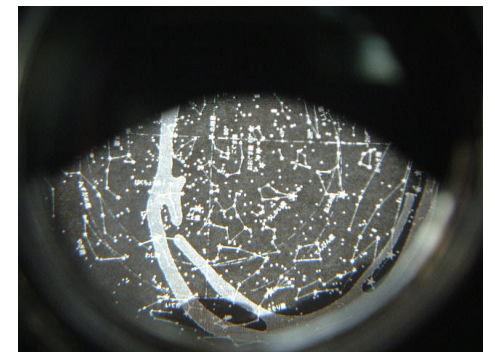


図7 覗くとこんな感じ。星空が見えます！